



2023年9月28日

各 位



会社名 JCRファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-1995)

メディパルホールディングスとJCRファーマ、
ムコ多糖症 IIIB 型に対する治療薬 (JR-446) の海外における事業化についての
実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結

当社と株式会社メディパルホールディングス（東京都中央区、代表取締役社長：渡辺 秀一）は、それぞれの取締役会において、当社が開発中のライソゾーム病の一種であるムコ多糖症 IIIB 型（サンフィリップ症候群 B 型）を対象疾患とする治療薬 JR-446 の海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約の締結について承認決議をいたしました。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

なお、本件に関して今期（2024年3月期）当社連結業績への影響は軽微であり、期初予想に織り込み済みです。

以 上

2023年9月28日

各位

株式会社メディopalホールディングス
JCRファーマ株式会社

**メディopalホールディングスとJCRファーマ、
ムコ多糖症 IIIB 型に対する治療薬 (JR-446) の海外における事業化についての
実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結**

株式会社メディopalホールディングス（東京都中央区、代表取締役社長：渡辺 秀一、以下、メディopalという）と、JCRファーマ株式会社（兵庫県芦屋市、代表取締役会長兼社長：芦田 信、以下、JCR という）は、それぞれの取締役会において、JCR が開発中のライソゾーム病の一種であるムコ多糖症 IIIB 型（サンフィリップ症候群 B 型）を対象疾患とする治療薬 JR-446 の海外における事業化についての実施許諾契約（以下、本実施許諾契約という）および日本における共同開発・商業化契約（以下、本共同開発契約という）の締結について承認決議をいたしましたのでお知らせします。

なお、本契約は 2022 年 10 月 31 日より両社で開始した、超希少疾病用医薬品開発への取り組みに、新たに JR-446 を追加するものです。

JR-446 は、2021 年に日本でムコ多糖症 II 型（ハンター症候群）の治療薬として承認されたイズカーゴ[®]により、臨床的に実証された J-Brain Cargo[®]技術を適用した新薬候補物質です。JCR で実施した動物試験においては、JR-446 が静脈内投与で中枢神経系を含む全身に送達され、ムコ多糖症 IIIB 型発症の原因基質を減少させることが確認されています。JR-446 は確立された標準治療がないムコ多糖症 IIIB 型治療において革新的な治療薬となり得ます。

本実施許諾契約により、メディopalは、JR-446 の日本を除く全世界において、臨床開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付独占的实施権を取得します。また、本共同開発契約により、メディopalは、日本における JR-446 の臨床開発以降の治験薬の配送や疾患啓発、並びに臨床試験実施等の協力などを行い、売上高に応じた一定の収益を受け取る予定です。両契約により JCR は、契約一時金のほか、日本を除く全世界においては売上高に応じたロイヤリティを受け取る予定です。日本においては開発進捗に応じたマイルストーンを受け取るほか、販売を担当し売上を計上します。

日本ではムコ多糖症 IIIB 型の患者数が比較的多いことが報告されており、治療薬のない疾患であることから早期の治療薬開発が期待されております。また、疾患の特性から未だ診断がされていない、または、異なる疾患として診断されている患者さんの存在も指摘されております。

【補足説明】

血液脳関門通過技術 J-Brain Cargo[®]について

J-Brain Cargo[®]は、JCR が独自に開発した血液脳関門通過技術であり、脳毛細血管の内皮細胞表面に発現しているトランスフェリン受容体を介して、目的とする物質の血液脳関門の通過を実現する。日本においては JCR が開発したライソゾーム病の一種であるムコ多糖症Ⅱ型（ハンター症候群）治療薬「イズカーゴ[®]点滴静注用 10mg」で実用化されている。

サンフィリップ症候群（ムコ多糖症Ⅲ型）について

ムコ多糖を体内で分解する酵素の欠損により発症する常染色体劣勢遺伝性疾患。欠損する酵素の種類により、4つの亜型（A型、B型、C型、D型）に分類される。ヘパラン硫酸の蓄積により、症状として特に中枢神経障害が急速に進行し、神経発達は 2、3 歳をピークとしてその後退行し、7～8 歳までに言語は消失する。進行すると、睡眠障害、肝脾腫、けいれん発作、神経行動異常といった症状がみられる。

以 上

【株式会社メディパルホールディングス】（2023年3月末現在）

代 表 者： 代表取締役社長 渡辺 秀一
本 社 所 在 地： 東京都中央区京橋三丁目1番1号
設 立： 1923年5月6日
連 結 従 業 員 数： 12,801名
資 本 金： 223億98百万円
事 業 内 容： 持株会社として「医療用医薬品等卸売事業」、「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業」ならびに「動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業」などを行う関係会社の株式を所有する事による当該関係会社の経営活動の管理・支援およびメディパルグループにおける事業開発等

【JCRファーマ株式会社】（2023年3月末現在）

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 芦田 信
本 社 所 在 地： 兵庫県芦屋市春日町3番19号
設 立： 1975年9月13日
連 結 従 業 員 数： 854名
資 本 金： 90億61百万円
事 業 内 容： 医薬品、再生医療等製品およびその原料の製造、売買ならびに輸出入医療用機器および実験用機器の売買ならびに輸出入

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディパルホールディングス 広報部
TEL：03-3517-5171

JCRファーマ株式会社 管理本部 広報・IR室
TEL：0797-32-1995

ニュースリリースは株主・投資家の皆さまや報道関係者へ、両社の事業に関する最新情報の提供を目的としたものです。本資料に含まれている医薬品（開発中の物を含む）に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。